

公共交通機関でお越しの方
 名鉄犬山線・「江南駅」より名鉄バス
 「滝学園口」下車、徒歩5分
 小牧I.C.方面(国道41号)より車でお越しの方
 小牧I.C.より、車で約20分
 名岐バイパス(国道22号)より車でお越しの方
 「両郷町」交差点より、車で10分

医療法人 永仁会グループ

佐藤病院

- 一般病棟
- 回復期リハビリテーション病棟
- 療養病棟

〒483-8259
 愛知県江南市上奈良町緑48番地
 TEL.0587-54-6611
 FAX.0587-51-5333



<http://www.sato-hp.jp/konan/>

【外来診療時間】
 月～金 9:00～12:00(受付 8:30～12:00)/16:30～18:00(受付 15:30～18:00)
 土曜日 9:00～12:00(受付 8:30～12:00)

【診療科目】
 内科・腎臓内科(人工透析)・リハビリテーション科・外科・脳神経外科

■ 居宅介護支援事務所 介護保険センターさとう

TEL.0587-54-6684 / FAX.0587-54-6610

■ 江南 南部地域包括支援センター

TEL.0587-55-5470 / FAX.0587-55-5471

介護老人保健施設 はじまり

〒483-8259
 愛知県江南市上奈良町旭28番地
 TEL.0587-54-1711
 FAX.0587-54-1710



- 介護老人保健施設
- 通所リハビリテーション

医療法人 永仁会 さとう病院

○療養病棟
 〒484-0894
 愛知県犬山市大字羽黒字下大日8番地の3
 TEL.0568-67-7660
 FAX.0568-67-7661



<http://www.sato-hp.jp/inuyama/>
 【外来診療時間】 月～土 9:00～12:00(受付 8:30～12:00)
 【診療科目】 外科・内科・リハビリテーション科

さとう病院 介護保険複合施設

TEL.0568-68-0011 / FAX.0568-68-0013

- 通所介護 さとうデイサービスセンター犬山
- 通所リハビリテーション さとう病院デイケアセンター
- 短期入所生活介護 さとうショートステイ犬山
- 居宅介護支援事業所 介護保険センターさとう犬山
- 訪問看護 訪問看護ステーションさとう



(有) エーエスメディカル

さとうトータルケアネクサス

〒483-8259
 愛知県江南市上奈良町天王252番地
 TEL.0587-56-2388 / FAX.0587-51-0880
<http://www.as-medical.com>



- 通所介護 音の葉・言の葉
- 認知症対応型通所介護 想の葉
- 短期入所生活介護 ショートステイ こよなし
- 認知症対応型共同生活介護 グループホーム えんなり

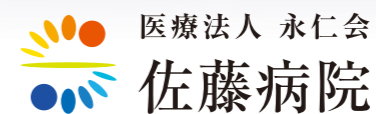
さとうデイサービスセンター

〒483-8259
 愛知県江南市上奈良町緑110番地
 TEL.0587-53-8581 / FAX.0587-53-8591



E I J I N K A I G R O U P

信 頼 と 安 心 の 拡 が り



医療法人 永仁会
佐藤病院



生きがいと、安らぎのサポート。



透析センター

Dialysis treatment center

透析治療に来院される患者様の気持ちになって、スタッフ一同いたわりの心を忘れずに努めています。



心ある、人とのふれあいを 見つめて…。

信頼される病院をめざして
私たちは地域と共に歩んでいます。

医学のめざましい進歩に伴い、それを取り巻く
生活環境にも時代と共に大きな変化が見られます。

我々のグループは、その時代や地域の環境の変化
に対し柔軟な対応を心掛け、地域に根ざした病院と
して医療や介護・福祉の更なる充実を目指し、今後
も皆様に貢献出来るように日々努力していきたいと
考えております。



理事長・院長 佐藤 文彦

Fumihiko Sato

基本理念

私たちは、「和」を尊び、地域の皆様に
安心していただける安全な医療・福祉を提供します。

基本方針

1. 患者様の人権と生命を尊重します。
2. 地域に根ざした「開かれた」医療・福祉の融合を目指します。
3. 質の高い医療・福祉サービスを提供する為に自己研鑽に努めます。

患者会活動「永和会」

透析患者様の患者会で、毎年バス旅行や
勉強会、料理教室などがあり、情報収集
や患者様・職員との交流をこの会を通し
て行っています。



専門スタッフによる 送迎サービス。

透析患者様の通院に際し、ご
自身やご家族での通院が困難
な方のために、専門スタッフ
による送迎サービスを行って
おります。



気くばり、心くばり、笑顔でお迎えします。



外来診療

Ambulatory care



患者様が安心してより良い診療、処置、検査等が受けられ、満足していただけるために、スタッフ一同気くばり、心くばり、笑顔を忘れないで温かい雰囲気を保つことができますよう努力しています。

患者様やご家族が、安心して受けていただけるネットワークがあります。

医療福祉総合相談センター



医療福祉相談室・介護保険センターさとう・江南南部地域包括支援センターを総合し、入院から在宅や在宅から入院、他の医療機関との連携による総合的な医療福祉サービスを提供いたします。

◆医療福祉相談室(地域医療連携室)

病気等により生じる、経済的な問題や、受診・入院相談、保険制度の利用の仕方、リハビリ後の在宅生活や社会復帰に向けての環境整備など、様々な生活上の問題解決に向けたお手伝いをさせていただきます。

◆江南 南部地域包括支援センター

江南市から委託を受けた相談窓口で、在宅で生活されている 65歳以上の方の総合的な相談に対応しております。

◆介護保険センターさとう

介護保険サービス利用に関する相談窓口です。介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活が送れるよう、ご本人・ご家族の相談に応じ、共に考えていきます。

栄養相談



栄養士が糖尿病食、高脂血症食など、バランスのとれた毎日の食事の相談に気軽に応じています。

最新の医療機器と的確な判断が、
早期発見、早期治療を可能にします。



検査・設備

inspection/equipment

一般撮影検査



一般撮影はいわゆるレントゲン(単純撮影)と呼ばれる検査です。肺や腹部の状態、骨折の有無、骨・関節の状態を撮影する検査です。

骨密度測定検査



骨密度測定とは、骨の量(カルシウム)を測定し、骨粗鬆症の判定を行います。当院の装置ではX線を使用して、腰椎と股関節の骨を測定しています。

X線透視検査



X線透視検査とは、人体の透過像をリアルタイムで観察しながら撮影・治療を行う検査です。骨折・脱臼の修復、造影剤を用いて消化管や血管の走行・状態を観察します。

末梢動脈疾患検査(ABI・SPP)



ABI(足関節上腕血圧比)検査は、両腕と両足首の血圧を測定することで、下肢動脈の狭窄・閉塞を評価します。あわせて血管の硬さも測定します。

SPP(皮膚灌流圧)検査は、皮膚表面近くの毛細血管の血流状態を評価します。

CT検査



CT検査は身体断面を撮影する検査です。わずかなX線の吸収差を画像化して体の中の構造を詳しく調べることによって、様々な病変を発見することができます。

ポリソムノグラフィー検査(PSG)



睡眠時無呼吸症候群の検査です。睡眠中の呼吸や心拍数、酸素飽和度を測定して判定します。装置の貸し出しを行っていますので、ご自宅で簡易検査ができます。

さらに詳しい検査が必要な場合には、一泊入院での精密検査(ポリソムノグラフィー)も行っています。

超音波検査



超音波検査は、体の表面に超音波(エコー)を当て、その反射を画像として映し出すことで、体内の臓器や血管の状態を調べる検査です。腹部(肝臓・腎臓・胆のうなど)心臓(心臓の動きや弁の状態)頸動脈・下肢の動脈および静脈などの領域の検査を行っています。

院内検体検査



血液や体液などの検体を院内で測定し、迅速に検査結果をご報告する体制を整えています。貧血や炎症反応、血液ガス、新型コロナやインフルエンザの核酸検査等を実施しています。スピーディな診断・治療につながるために、迅速かつ正確な検査を心がけています。

様々な患者様、一人一人に合った、
きめ細かなリハビリテーションを。



リハビリテーション科

Rehabilitation

早期在宅復帰を目指す回復期リハビリから在宅生活を支援する訪問リハビリまで、患者様、そして、この地域のニーズに合わせたサービスを提供しております。



リハビリテーションセンター

理学療法



起き上がって座る、立って歩くなど、主に移動能力の障害に対して筋力訓練や歩行訓練などを行い、運動機能の改善を目指します。

作業療法



身体・精神に障害を持った方に、様々な作業を通じて、身の回りの動作・家事動作などを改善し、豊かな生活の獲得を目指します。

言語聴覚療法



脳血管障害などによりコミュニケーションにお困りの方、食べることに問題ができてしまった方に言語訓練や摂食機能訓練を行います。



病棟紹介

Hospital building Introduction

ナースステーション



機械浴



談話室



回復リハビリテーション病棟

『回復リハビリテーション病棟』は、脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者様に対して、食事・更衣・排泄・移動・会話などのADL(日常生活動作)の能力向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

医師や看護師だけでなく、介護福祉士・ケアワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカーが協働してチーム医療を提供します。



一般病棟

『一般病棟』は、基準看護入院基本 10 対 1 をとっています。

内科・外科の混合病棟で急性期疾患の治療や、手術を必要とする患者様の治療・看護を行う病棟です。平均在院日数は 14 日～21 日です。職員一同、病気で不安な気持ちをサポートできるよう努力しています。



療養病棟

『療養病棟』は、急性期を脱した後の治療・管理を行う慢性期医療の場として、医療依存度の高い患者様のケアを行っています。退院後、家庭生活を送るうえで支障のない、健やかな毎日へと導くための快適な療養生活を提供する病棟です。

私達は思いやりと優しさの気持ちで患者様に接しています。また安らぎの心とくつろげる環境を患者様へ提供したいと日々奮闘しています。